

第82回 実は隣のスゴイ人

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスゴイ人、吉川益夫さんにご紹介いただいたこの方は「**大きなことに挑戦するスゴイ人**」とのこと。

今回は、末吉町にお住まいで完全予約制の創作料理店『Michiさんの台所』を営んでいる新西美智子さんに話を伺ってきました。

新西さんは福岡県出身。結婚後は転勤のある仕事をしていご主人とともに各地を転々としていましたが、ご主人の実家の曾於市に家を建て12年前に愛知県から移住しました。

移住してからは義父の様子を見るために毎日ご主人の実家に通っていました。ある日義父から「来んでよか、おいぼれとらん」と言われたものの放っておくことができず平成24年ご主人の実家に『Michiさんの台所』をオープンさせました。

「料理の経験もなくお店を開こうなんて思っていなかったけど、義父の様子を毎日見に来る口実のために始めました」

もともと食べることが好きだった新西さん、ある日知人に誘われてローフードを提供するお店へ食事に行きました。ローフードとは生のままの野菜・果物・ナッツ類などを使用し、46度以下の食物酵素が壊れない温度で調理する食事のことです。

「ローフードは見た目も綺麗で美味しい食事。『体は食べたものでできている』といつも思っているのでローフードを学びたいと思いました」

ローフードマイスター1級資格を取得しローフードパティシエの資格をお店のメニューにも活かしています。ほかにも曾於市の豊かな自然を活かした料理をと「和ハーブ」の講師を紹介してもらい、「和ハーブを知ろう」講演会を主催。その後、夢のひとつだった「つみくさ=野の草花」を使って花の天ぷらなどを季節の物として。その後に、すぎな・よもぎ・藤の花・やぶ椿などの天ぷらを提供しています。

また平成29年からは地域の人に集まって食事をしてほしいと、子ども食堂の『曾於ふれあい食堂』をスタートしました。現在は第1日曜日に岩川農業構造改善センター・そお生きいき健康センター・ミチさん家（Michiさんの台所）の3カ所で活動を行っています。

一方で古事記の勉強をしていた新西さん。古事記を通じて女優の柴田美保子さんや脚本家の市川愉実子さんと知り合いました。また弥五郎どんまつりで太鼓を演奏する巨神伝説太鼓衆大隅弥五郎太鼓のメンバーとの集いの場をきっかけに弥五郎どんの物語を市川愉実子さんに書いてもらうことに。そうして2年かけて『弥五郎どんファンタジア～子供と大きな子供のための音楽劇～』が完成しました。

「私は裏方ですが東京での公演を目指しています。皆さんに観てもらって、弥五郎どんファンタジア=曾於市と思ってもらえるようにしたいです」

曾於市が好きという新西さんの大きな夢を話してくれました。



【今回のスゴイ人】

M i c h iさんの台所

ローフードマイスター1級

曾於ふれあい食堂代表

N P O法人そお未来協議会 理事

しん に し み ち こ
新西美智子さん